



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月28日

上場会社名 協栄産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市河 明 TEL 03-3481-2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	40,586	△9.8	△90	—	△124	—	△200	—
27年3月期第3四半期	45,012	4.6	△33	—	△123	—	△171	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △278百万円 (ー%) 27年3月期第3四半期 533百万円 (24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△6.57	—
27年3月期第3四半期	△5.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,164	14,699	40.6
27年3月期	36,608	15,100	41.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,699百万円 27年3月期 15,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年3月期	—	2.00	—		
28年3月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△8.6	250	△51.4	200	△48.0	50	△72.7	1.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	31,935,458株	27年3月期	31,935,458株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,442,086株	27年3月期	1,436,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	30,495,631株	27年3月期3Q	30,502,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による各種経済・金融政策を背景に、円安基調の継続に伴い輸出関連企業を中心とした企業収益は堅調に推移すると共に、雇用環境の改善が見られ、穏やかな回復基調となりました。しかしながら、内需の停滞や外需環境の不透明感から企業の設備投資の拡大は限定的で、個人消費の回復も緩やかなペースに留まりました。

また、海外においては米国経済は景気の拡大傾向が続きましたが、回復による利上げ局面入りや、中国・新興国経済の減速懸念など、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社（以下当社グループ）が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は405億8千6百万円、前年同期に比べて9.8%の減収、営業損失は9千万円（前年同期営業損失3千3百万円）、経常損失は1億2千4百万円（前年同期経常損失1億2千3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億7千1百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 316億5百万円（前年同期比12.0%減）
- ・営業利益 2億7千5百万円（前年同期比42.6%減）

商事部門においては、売上は低調に推移し、利益面も低調となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

<半導体デバイス事業>

半導体分野では、自動車関連は堅調に推移し、白物家電関連に関しては堅調に推移いたしました。また、産業機関連は低調に推移し、全体としては低調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連は順調に推移いたしました。また、産業機関連は低調に推移し、全体としては堅調に推移いたしました。

<電子材料事業>

コネクタ分野では、スマートフォン関連は低調に推移し、自動車関連に関しましても低調に推移し、全体としては、低調に推移いたしました。

半導体リードフレーム分野は、低調に推移いたしました。

主要仕入れ先の会社清算の影響により、事業全体として低調に推移いたしました。

<FA・環境システム事業>

産業メカトロニクス分野では、レーザ加工機関連は順調に推移いたしました。

FA機器分野では、産業機器関連は堅調に推移いたしました。

環境ビジネス分野では、省エネ支援装置関連の商談は増加し、太陽光発電関連商談も再開の動きが出るなど、回復の兆しは出てきましたが、受注に至らず低調に推移いたしました。

(IT部門)

- ・売上高 39億8千1百万円（前年同期比20.1%増）
- ・営業利益 4億1千2百万円（前年同期比121.3%増）

IT部門においては、売上、利益ともに順調に推移いたしました。

なお、IT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

<ビジネスソリューション事業>

ビジネスソリューション事業は、エンドユーザー向けシステム開発を中心に受注が順調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けを中心に堅調に推移いたしました。

<エンベデッドシステム事業>

エンベデッドシステム事業は、アミューズメント系システムや、公共業務関連の受託開発が順調に推移いたしました。

<IC設計事業>

IC設計事業は、主要顧客からの受注により堅調に推移いたしました。

(製造部門)

- ・売上高 50億7千4百万円 (前年同期比12.9%減)
- ・営業利益 1億1千万円 (前年同期比61.6%減)

製造部門においては、売上は堅調に推移いたしましたが、利益面では低調となりました。

<プリント配線板事業>

アミューズメント向け基板は、堅調に推移いたしました。

特殊技術を活用した精密機器及びOA機器向けモジュール基板は、順調に推移いたしました。車載向け基板は、堅調に推移いたしました。

利益面では国内市場縮小に伴う価格競争により低調に推移いたしました。

海外で行っているフレキシブル基板ビジネスは好調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億4千4百万円減少し、361億6千4百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金6億5千5百万円の減少等により、5億7千2百万円減少し、279億5千7百万円となりました。
- ・固定資産は、有形固定資産1億5千3百万円の増加等により、1億2千8百万円増加し、82億6百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金4億9百万円の減少、賞与引当金2億8千4百万円の減少等により、6億5千5百万円減少し、153億2千3百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金7億6千万円の増加等により、6億1千2百万円増加し、61億4千1百万円となりました。

この結果、純資産は、4億1百万円減少し、146億9千9百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の41.2%から0.6ポイント減少し、40.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、国内外の経済情勢に関して先行きの不透明感がぬぐえない状況であり、現時点では平成27年10月28日に公表いたしました数値を変更いたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(2) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成27年6月25日開催の第81回定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の役員退職慰労引当金を全額取崩し、打切り支給額の未払分93,750千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、一部の国内子会社については、引き続き、役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しておりますが、金額的重要性が乏しいため、同様に固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,884	4,165,089
受取手形及び売掛金	15,637,705	14,160,318
電子記録債権	699,822	1,938,109
商品及び製品	6,259,784	6,300,130
仕掛品	676,293	919,917
原材料及び貯蔵品	156,206	192,827
繰延税金資産	87,435	43,788
その他	195,944	241,677
貸倒引当金	△4,037	△3,989
流動資産合計	28,530,038	27,957,870
固定資産		
有形固定資産	2,742,119	2,895,453
無形固定資産	428,481	578,351
投資その他の資産		
投資有価証券	3,604,079	3,447,200
退職給付に係る資産	529,295	560,895
その他	863,917	810,805
貸倒引当金	△89,189	△86,001
投資その他の資産合計	4,908,102	4,732,899
固定資産合計	8,078,703	8,206,704
資産合計	36,608,741	36,164,575
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,528,501	10,119,243
短期借入金	2,448,878	2,291,395
1年内返済予定の長期借入金	1,370,000	1,545,000
未払法人税等	63,782	4,728
賞与引当金	366,619	82,549
工事損失引当金	—	187
その他	1,201,304	1,280,852
流動負債合計	15,979,085	15,323,957
固定負債		
長期借入金	3,880,000	4,640,000
繰延税金負債	877,116	865,269
その他	771,983	636,034
固定負債合計	5,529,099	6,141,303
負債合計	21,508,185	21,465,261

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	7,211,340	6,889,008
自己株式	△419,263	△420,250
株主資本合計	13,074,131	12,750,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,466,161	1,430,333
為替換算調整勘定	351,502	323,413
退職給付に係る調整累計額	208,760	194,753
その他の包括利益累計額合計	2,026,424	1,948,500
純資産合計	15,100,555	14,699,313
負債純資産合計	36,608,741	36,164,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	45,012,125	40,586,308
売上原価	40,019,966	35,951,071
売上総利益	4,992,159	4,635,237
販売費及び一般管理費	5,025,937	4,725,668
営業損失(△)	△33,777	△90,430
営業外収益		
受取利息	1,100	972
受取配当金	55,905	69,208
その他	46,129	47,086
営業外収益合計	103,135	117,267
営業外費用		
支払利息	98,026	93,479
為替差損	41,960	13,815
債権売却損	18,876	9,402
その他	33,879	34,551
営業外費用合計	192,743	151,249
経常損失(△)	△123,384	△124,412
特別利益		
固定資産売却益	104,107	2,152
投資有価証券売却益	25,060	24,791
特別利益合計	129,168	26,944
特別損失		
固定資産除却損	15,607	13,713
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	502	—
特別損失合計	16,109	13,713
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,325	△111,181
法人税、住民税及び事業税	74,516	30,717
法人税等調整額	86,716	58,446
法人税等合計	161,233	89,163
四半期純損失(△)	△171,558	△200,345
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△171,558	△200,345

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△171,558	△200,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	412,518	△35,828
為替換算調整勘定	293,611	△28,088
退職給付に係る調整額	△843	△14,006
その他の包括利益合計	705,286	△77,923
四半期包括利益	533,727	△278,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533,727	△278,268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	35,900,581	3,286,969	5,824,574	45,012,125
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21,097	28,077	2,973	52,148
計	35,921,679	3,315,047	5,827,547	45,064,273
セグメント利益	479,649	186,571	288,758	954,979

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	954,979
全社費用(注)	△988,757
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△33,777

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	31,558,141	3,955,087	5,073,080	40,586,308
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	47,821	26,058	1,126	75,006
計	31,605,962	3,981,146	5,074,206	40,661,315
セグメント利益	275,239	412,855	110,933	799,028

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	799,028
全社費用(注)	△889,459
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△90,430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。